

# PRsj

PUBLIC RELATIONS  
SOCIETY OF JAPAN

# NEWS

2014年1月号

NO. 248

## TOPICS

### 「年頭に当たって」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事長 森 健  
MESSAGE P3

### 「新春PRフェスタ2014を1月21日に開催します！」

ATTENTION P4

### 「広報PRアカデミー2013

1次試験対応講座を1月28日より開講」

ATTENTION P5

### 「広報PRアカデミー2013

12月4日「クライシス・コミュニケーション講座」を開講」

ATTENTION P6

### 「第14回PRプランナー資格認定検定試験

1次試験 受験予約は1月17日(金)まで！」

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F  
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

# 1月号 目次

1月～2月のスケジュール		— 1
MESSAGE(メッセージ)	「年頭に当たって」	— 3
ATTENTION(お知らせ)	「予告:「新春PRフェスタ2014」を1月21日(火)に開催します！」	— 4
”	「広報PRアカデミー2013 1次試験対応講座を1月28日より開講」	— 5
”	「広報PRアカデミー2013 12月4日「クライシス・コミュニケーション講座」を開講」	— 6
”	「第14回PRプランナー資格認定検定1次試験 受験予約は1月17日(金)まで！」	— 7
BULLETIN(活動報告)	「第13回PRプランナー資格認定検定2次試験を11月17日に実施」	— 8
”	「「日本PR大賞パーソン&シチズン」「PRアワードグランプリ」決定」	— 9
VOICE of PR Planner	「広告に頼らない「効果的マーケティングPR」」	— 14
REPORT(講演レポート)	「第152回定例研究会報告」	— 16
PR TREND(PRトレンド(関西))	「関西の風: 史料館にお越しください」	— 17
会員便り	「協会理事の鶴野充茂氏が「なぜ経営者は「嘘つき」と言われてしまうのか」を発刊」	— 18
協会掲載記事	「PRSJ in Media 12月」	— 19

## 1月～2月スケジュール

広報PRアカデミー2013 「PRプランナー3次試験対応講座」	日 時 : 1月8日(水)、15日(水)、22日(水) いずれも 19:00～21:30
	会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
広告界合同年賀会	日 時 : 1月8日(水) 15:30～17:00
	会 場 : 帝国ホテル「孔雀の間」
企業部会フォーラム(企業部会)	日 時 : 1月17日(金) 18:30～21:30
	会 場 : (株)NTTデータ「INFORIUM」
	テーマ : 「20周年を迎えたJリーグの広報戦略」
新春PRフェスタ 2014	日 時 : 1月21日(火) 16:00～20:30
	会 場 : グランド ハイアット東京
第13回PRプランナー資格認定 検定3次試験	日 時 : 1月25日(土) 9:30～
	会 場 : 富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター(東京)
広報PRアカデミー2013 「PRプランナー1次試験対応講座」	日 時 : 1月28日(火)、2月4日(火)、12日(水)、18日(火) いずれも 19:00～21:30
	会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務 シリーズ	日 時 : 1月29日(水) 19:00～21:00
	会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
	講 師 : 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授 齋藤哲男氏
	テーマ : 「CSRコミュニケーション講座」
広報PRアカデミー2013 PRプランナーフォーラム	日 時 : 2月20日(木) 17:00～21:00
	会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
	講 師 : (株)田中危機管理広報事務所 代表取締役社長 田中正博氏
広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務 シリーズ	日 時 : 2月26日(水) 19:00～21:00
	会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
	講 師 : 中央大学大学院 ビジネススクール/戦略経営研究科 教授 田中 洋氏
	テーマ : 「ブランド・コミュニケーション講座」

※ 来年1月21日(火)に「新春PRフェスタ 2014」を開催いたします。  
(詳細はP4をご参照ください)

## 1月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（1月度）	日 時	： 1月14日(火)	12:00～14:00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ	
幹部会（経営会議）（1月度）	日 時	： 1月14日(火)	10:30～11:45
	場 所	： 協会会議室	
教育委員会（1月度）	日 時	： 1月23日(木)	12:00～14:00
	場 所	： 協会会議室	
資格委員会（1月度）	日 時	： 1月27日(月)	12:00～14:00
	場 所	： 協会会議室	
交流委員会（1月度）	日 時	： 1月16日(木)	12:00～14:00
	場 所	： 協会会議室	
広報委員会			
PR小委員会(1月度)	日 時	： 1月15日(水)	12:00～14:00
	場 所	： 協会会議室	
出版小委員会(1月度)	日 時	： 1月15日(水)	16:30～18:00
	場 所	： 協会会議室	
企業部会幹事会（1月度）	日 時	： 1月 9日(木)	17:00～18:00
	場 所	： 協会会議室	
PR業部会幹事会（1月度）	日 時	： 1月16日(木)	16:00～18:00
	場 所	： 協会会議室	

## 年頭に当たって

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
理事長 森 健

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお祈りを申し上げます。

昨年度の流行語大賞には「じぇじぇじぇ」「倍返し」「今でしょ!」「お・も・て・な・し」と4つの言葉が選ばれたことが象徴するように、国民をつなぐような様々な現象・言葉が世の中で注目されました。そして、そのハイライトともいえる「2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定」。月日の速さに驚愕しながらも、出来事の多い一年でした。また、本年は、昨年度に引き続き、日本経済の成長戦略、TPP問題、東日本大震災からの復旧・復興、原発・エネルギー問題、外交・安全保障上の諸問題など、取り組むべき課題も山積し、課題解決のための実行力、結果・実績が問われる年です。こうした課題への取り組みにおいても、「伝えること」「伝わる事」「広く聴くこと」広報・PRの役割はますます高くなっているといえます。

さて、昨年度、日本パブリックリレーションズ協会は、「公益法人2年目」の年として、これまでに以上に、協会活動の社会性を意識し、広く公益に資する事業展開を定着させるべく、諸活動を展開してまいりました。①広報・PR技術研鑽のための各種教育プログラムの展開 ②PRプランナーの育成と社会的認知向上のためのPRプランナー資格制度 ③ 広報・PR活動の認知・理解促進のための顕彰制度など、協会のベースとなる活動は、ご参加の会員数も増え、年間を通して順調に推移いたしました。

昨年度の活動として、ひとつ特筆すべきは、「海外研修ツアー」3年ぶり(アメリカ研修は8年ぶり)の復活です。多数の会員の方にご参加いただき、ニューヨークとワシントンのPR団体、PR会社等の訪問を実現いたしました。アメリカにおけるPRの最前線を取材することは、日本の業界のためにも極めて有意義であると思えます。そのレポートは、報告会などで皆様にシェアをして、報告書(冊子)を作成し皆様にお届けする予定です。

本年度は、基礎となる事業のさらなる充実に加えて、昨年末で1,534名を数える「PRプランナーのネットワーク化」、PRプランナーの皆様の相互のつながりを促進するための施策にも、協会として重点的に取り組んでまいります。それが、結果として、若年層の会員の方々の協会活動へのさらなる興味・関心、今まで以上に積極的な参加、そして、日本PR協会の新しい展開へとつながっていけばと存じます。

日々の本業に加えての協会活動は、時間的にも、エネルギーの配分においても、簡単なことではありません。それを担い、企画・実施に尽力いただいている会員の皆様、そして、様々な活動に参加をいただいている会員の皆様方には、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

業界の発展(その結果、業界として、より大きな社会的責任を果たすこと)は、一人ひとりの広報人の日々の努力の集積的積み重ねによるものです。日本PR協会は、協会の会員一人ひとりの皆様に、様々な「学びの場」「交流の場」を提供することによって、今後とも、広く業界の発展に寄与することができたらと存じます。

本年も、変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお祈りを申し上げます。

## 予 告

### 「新春PRフェスタ 2014」を 1月21日(火)に開催します!

すでにご案内の通り、新年1月21日(火)に「新春PRフェスタ 2014」(「新春PRフォーラム」「賀詞交歓会」)が開催されます。

「第5回新春PRフォーラム」では、第1部に「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式を執り行います。

2013年度「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」はサントリーCSR推進部・パラリンピアン 佐藤真海氏、2013年度「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、今年で10回目を迎えた本屋大賞実行委員会に決定しました。

当日は両賞とも、表彰式にご出席いただき、受賞記念のスピーチをしていただく予定です。

第2部は新年特別講演会として、政策研究大学院大学 教授で、安倍内閣で内閣府規制改革会議議長代理、政府税制調査会(内閣府)委員を務める大田弘子氏に「2014年の日本経済と成長戦略」をテーマにご講演いただきます。

「新春PRフォーラム」終了後、賀詞交歓会を行います。これまで会員限定でありました「新年懇親会」は今年から賀詞交歓会として一般(非会員)の方にもご参加いただき、また日頃お世話になっている報道関係の方々もご招待いたします。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、より多くの皆様にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

#### 【新春PRフェスタ 2014】

参加費：会員社・一般(非会員) 1名 10,000円

※参加費は会員(会員社)・一般(非会員)を問わず10,000円

(新春PRフォーラムまたは賀詞交歓会のどちらかのご参加の場合でも10,000円です。一般(非会員)の方も賀詞交歓会にご参加いただけます。)

#### 【第5回新春PRフォーラム】

開催日時：

第1部 2014年1月21日(火) 16:00~17:00(予定) (開場 15:30)

2013年度「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び

「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式と受賞記念スピーチ

・「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」：受賞者は佐藤真海氏

・「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」：受賞者は本屋大賞実行委員会

第2部 2014年1月21日(火) 17:00~18:00(予定)

新春特別講演

講師：政策研究大学院大学 教授・内閣府規制改革会議議長代理・政府税制調査会委員 大田弘子氏

会 場： グランド ハイアット 東京 2F 「アニス」

#### 【賀詞交歓会】

開催日時： 2014年1月21日(火) 18:30~20:30(予定)

□受付開始(18:00~) □開場(18:20~) □開演(18:30~)

会 場： グランド ハイアット 東京 2F 「バジル」

## 広報PRアカデミー2013

# 「1次試験対応講座」を1月28日より開講

—3月2日「第14回PRプランナー1次試験」受験者に最適—  
教育委員会



協会では、PRプランナー資格への登竜門「PRプランナー資格検定1次試験」合格をめざす「PRプランナー1次試験対応講座(冬期)」を、1月28日より4回にわたって六本木アカデミーヒルズ49にて開講します。3月2日には「第14回PRプランナー資格検定1次試験」の実施が予定されており、試験突破をめざす受験者には最適です。

本講座では、過去の1次試験で実際に出題された試験問題による模擬試験を実施します。本講座の受講者は、模擬試験終了後における問題と解答の解説を通じて試験各分野の基本的な知識を確認できるとともに、試験の形式やレベルを把握できる実践的な試験対策講座です。

講座では会場で模擬試験を受け解説を聴講する会場受講に加え、インターネットを利用し会場外から受講できる「Web受講サービス」を提供します。本サービスでは、地方等の遠隔地から講座をライブで受講でき、また終了した講座はアーカイブにより、休日、夜間などご自身の都合の良い時に学習することができます(視聴期間限定)。このため、日々の業務に追われる多忙な受験者も時間と場所にかかわらず都合のよいタイミングで受講でき、準備を進めることが可能です。

会場受講は、1月24日まで申込みを受付けます。なお、アーカイブの活用により短期で集中的な学習を計画しているWeb受講は講座開講後も申込み可能です。講座の詳細と受講申込みは以下の協会Webサイト「セミナー/イベント」の「PRプランナー1次試験対応講座(冬期)」のページ(以下URL)をご参照ください。

[http://event.prsj.or.jp/prp/1st\\_201401](http://event.prsj.or.jp/prp/1st_201401)

### ■PRプランナー1次試験対応講座の概要

日程	講座内容	講師	受講料	申込締切
1月28日(火) 19:00~21:30	・パブリックリレーションズの基本 ・企業経営とパブリックリレーションズ ・広報・PRマネジメント	(公社)日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長 真部一善	<b>会場受講+</b> <b>Web受講</b> 一般 31,500円 学生 18,900円 PR協会会員 21,000円  <b>Web受講のみ</b> 一般 21,000円 学生 18,900円 PR協会会員 21,000円	<b>会場受講+</b> <b>Web受講</b> 1月24日(金)まで  <b>Web受講</b> 講座開始後でも受け付けますが、終了後の講座はアーカイブの視聴のみとなります
2月4日(火) 19:00~21:30	・コミュニケーションとPR ・メディアリレーションズ ・マーケティングとPR	(株)プロペラ・コミュニケーションズ 代表取締役 永井昌代氏		
2月12日(水) 19:00~21:30	・行政・団体の広報活動 ・国際広報 ・企業と危機管理 ・経営倫理とプロフェッショナリズム	(株)プロペラ・コミュニケーションズ 代表取締役 永井昌代氏		
2月18日(火) 19:00~21:30	・インベスターリレーションズ ・エンプロイヤーリレーションズ ・ネットPR	(公社)日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長 真部一善		

日本PR協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

## 広報PRアカデミー2013

### 12月4日「クライシス・コミュニケーション講座」を開講

—「危機管理の心構えとクライシス・コミュニケーション」—

教育委員会

12月4日、「広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」の第2回となる「クライシス・コミュニケーション講座」を六本木アカデミーヒルズにて開講しました。

本講座では、危機管理コンサルティングに経験の深い(株)田中危機管理広報事務所・代表取締役社長 田中正博氏を講師に迎え、危機的事態における心構えや考え方、基本的対応等について、講義とグループワークを交えた4時間の講座が行われました。



講座前半の講義では、最近、発生した具体的な事例を交えながら、危機管理の心構えと基本的な対応について解説が行われました。また、後半のグループワークでは日常的に発生しやすい危機的事態を取り上げた課題に基づき、問題発生時の対応等についてそれぞれのグループで活発な議論が展開されました。そして、対応策についてグループごとに代表者が発表を行い、それぞれについて田中講師より講評する形でグループワークが進められました。

田中講師の豊富な経験のエッセンスにより構成された講義、グループ発表に対する的確な講評には、真剣に聴き入る多くの受講者の姿が見られました。

「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」は、広報・PRの第一線で活躍する実務者を対象に、より高いレベルにおける業務の遂行に不可欠な広報・PRの専門的知識や理論、考え方などの習得をめざす講座です。「コーポレート・コミュニケーション」、「クライシス・コミュニケーション」に続き、1月には「CSRコミュニケーション」、2月には「ブランド・コミュニケーション」、そして3月には「グローバル・コミュニケーション」をテーマに講座が予定されています。講座の詳細/お申込みは、日本PR協会Webサイト「セミナー/イベント」の「広報PRアカデミー2013」ページ(以下URL)をご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2013>

#### ■「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」講座概要

日時	講座テーマ	講師	締切
1月29日(水) 19:00~21:00	CSRを基軸とする企業と社会の新しい関係～重要性を高めるステークホルダーとの双方向コミュニケーション	立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授 齋藤哲男氏	1月24日 (金)
2月26日(水) 17:00~21:00	「コンセプト・ブランディング」～ブランド構築に向けた新たな戦略的アプローチ～	中央大学大学院 ビジネススクール/戦略経営研究科 教授 田中洋氏	2月21日 (金)
3月27日(木) 19:00~21:00	グループ内におけるグローバル・コミュニケーション戦略	東海大学 経営学部 経営学科 教授 小野豊和氏	3月24日 (金)

## お急ぎください！

## 第14回PRプランナー資格認定検定試験

1次試験受験予約は、1月17日(金)まで！

試験日：2014年3月2日 試験会場：東京・大阪・福岡

資格委員会

第14回PRプランナー資格認定検定試験1次試験の受験者申込を、1月17日(金)まで受付しております。

今回も昨年の第10回、12回に引き続き、東京・大阪会場以外に、福岡でも実施いたします。5月に実施されます2次試験でも、東京・大阪会場以外で、福岡でも実施いたしますので、福岡近隣の方は、是非この機会をご利用いただければ幸いです。

本制度は2007年の発足以来、13回の1次試験を実施し、5,588名の社会人～学生が受験され、4,316名が合格。3次試験は12回実施し、難関を突破し資格を取得した1,534名のPRプランナーが一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験を予定されている会員社員の皆様には、**消費税率5%での最後の試験**となりますので、早目のお申込みをお勧めいただければ幸いです。併せて、受験の促進につきまして、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、1次試験の試験日は、2013年3月2日(日)(会場：東京、大阪、福岡)となります。詳細は、当協会の資格制度専用Webサイト(<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>)をご覧ください。

## &lt;東京会場&gt;

明治大学 駿河台キャンパス  
リバティタワー (東京都千代田区)



## &lt;大阪会場&gt;

毎日インテシオ  
4F大会議室 (大阪市北区)



## &lt;福岡会場&gt;

AQUA (アクア) 博多  
(福岡市博多区)



## 第14回1次試験 実施概要

試験日	2014年3月2日(日)
会場	東京会場：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー (東京都千代田区) 大阪会場：毎日インテシオ (大阪市北区) 福岡会場：AQUA (アクア) 博多 (福岡市博多区)
受験応募・申込方法	資格制度Webサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送
受験予約期間	2013年12月2日(月)～2014年1月17日(金)
申込書送付期間	2013年12月3日(火)～2014年1月24日(金) <必着>
受験票送付	2014年2月14日(金) 発送
可否通知送付	2014年3月14日(金) 発送

※実施会場は変更する場合がございますので、予めご了承ください。

## 第13回PRプランナー資格検定試験

# 2次試験を11月17日に実施 新設会場の名古屋を含め、255名の受験者が挑戦！ 資格委員会

11月17日（日）、第13回PRプランナー資格検定2次試験が東京・学習院大学、大阪・天満研修センター、名古屋・愛知県青年会館で行われました。今回の2次試験では、東京会場：238名、大阪会場：37名、名古屋：11名の合計286名が受験申込をされ、当日は255名（東京会場：208名、大阪会場：36名、名古屋：11名）の受験者が受験し、そのうち197名が合格されました。

今回も無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

なお、今回の2次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

### ■第13回 科目別 正答率65%以上 ※達成率は、全体での割合として記載しております。

科目A：CSR、IR、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識  
受験者255名、正答率65%以上156名、達成率61.2%

科目B：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識  
受験者255名、正答率65%以上219名、達成率85.9%

科目C：広報・PR実務に関する知識  
受験者253名、正答率65%以上202名、達成率79.8%

科目D：時事知識  
受験者253名、正答率65%以上132名、達成率52.2%

※達成率は、全体での割合として記載しております。

### ■2次試験合格率

実施回／実施日	受験者	合格者	合格率
第1回（2007年11月11日実施）	422名	342名	81.0%
第2回（2008年5月18日実施）	173名	112名	64.7%
第3回（2008年11月16日実施）	148名	84名	56.8%
第4回（2009年5月17日実施）	208名	169名	81.3%
第5回（2009年11月14日実施）	194名	170名	87.6%
第6回（2010年5月16日実施）	226名	186名	82.3%
第7回（2010年11月14日実施）	200名	166名	83.0%
第8回（2011年5月15日実施）	224名	145名	64.7%
第9回（2011年11月13日実施）	180名	139名	77.2%
第10回（2012年5月13日実施）	197名	137名	69.5%
第11回（2012年11月18日実施）	212名	143名	67.5%
第12回（2013年5月19日実施）	210名	156名	74.3%
<b>第13回（2013年11月17日実施）</b>	<b>253名</b>	<b>197名</b>	<b>77.9%</b>
2次試験累計	2,847名	2,146名	75.4%

※上記、受験者数・合格者数は、4科目一括の受験者のみとなります。

■第13回2次試験(2013年11月17日) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR 関連)	一般企業 (その他)	各種団 体	教育機 関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	31名	43名	10名	7名	4名	4名	17名	8名	124名
	合格者	24名	37名	9名	7名	3名	3名	11名	7名	101名
女性	受験者	31名	51名	7名	5名	6名	3名	13名	13名	129名
	合格者	23名	39名	4名	4名	6名	3名	7名	10名	96名
全体	受験者 (全体比)	62名 (24.5%)	94名 (37.2%)	17名 (6.7%)	12名 (4.7%)	10名 (4.0%)	7名 (2.8%)	30名 (11.9%)	21名 (8.3%)	253名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	47名 (23.9%)	76名 (38.6%)	13名 (6.6%)	11名 (5.6%)	9名 (4.6%)	6名 (3.0%)	18名 (9.1%)	17名 (8.6%)	197名 (100.0%)
	合格率	75.8%	80.9%	76.5%	91.7%	85.7%	85.7%	60.0%	81.0%	77.9%

		20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	37名	49名	38名	111名
	合格者	26名	41名	34名	88名
女性	受験者	52名	54名	23名	99名
	合格者	34名	44名	18名	68名
全体	受験者 (全体比)	89名 (35.2%)	103名 (40.7%)	61名 (24.1%)	210名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	60名 (30.5%)	85名 (43.1%)	52名 (26.4%)	156名 (100.0%)
	合格率	67.4%	82.5%	85.2%	74.3%

受験者	合格者	合格率
253名	197名	77.9%

■2次試験累計(第1回～第13回) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連 業	一般企業 (広報PR 関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	516名	556名	161名	25名	43名	38名	77名	96名	1512名
	合格者	421名	466名	123名	19名	35名	32名	43名	77名	1216名
女性	受験者	362名	579名	127名	25名	33名	26名	83名	100名	1335名
	合格者	259名	409名	87名	16名	26名	23名	50名	60名	930名
全体	受験者 (全体比)	878名 (30.8%)	1135名 (39.9%)	288名 (10.1%)	50名 (1.8%)	76名 (2.7%)	64名 (2.2%)	160名 (5.6%)	196名 (6.9%)	2847名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	680名 (31.7%)	875名 (40.8%)	210名 (9.8%)	35名 (1.6%)	61名 (2.8%)	55名 (2.6%)	93名 (4.3%)	137名 (6.4%)	2146名 (100.0%)
	合格率	77.4%	77.1%	72.9%	70.0%	80.3%	85.9%	58.1%	69.9%	75.4%

		20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	411名	670名	431名	1512名
	合格者	298名	548名	370名	1216名
女性	受験者	520名	599名	216名	1335名
	合格者	341名	433名	156名	930名
全体	受験者 (全体比)	931名 (32.7%)	1269名 (44.6%)	647名 (22.7%)	2847名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	639名 (29.8%)	981名 (45.7%)	526名 (24.5%)	2146名 (100.0%)
	合格率	68.6%	77.3%	81.3%	75.4%

受験者	合格者	合格率
2847名	2146名	75.4%

「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」に佐藤真海氏  
「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」に  
**本屋大賞実行委員会**  
「PRアワードグランプリ」に  
**株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂**  
「『土のフルコース』  
**プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション」**

— 顕 彰 委 員 会 —

2013 年度「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」及び「PRアワードグランプリ」の受賞者(社)が以下のように決定いたしました。

「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」  
「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」

2013 年度「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」は、その基本理念であるパブリックインタレスト（公益）に貢献した人、あるいはそれぞれの分野でPRの視点から活躍した人を表彰するもので、過日、会員の皆様方に投票していただいた結果を基に、顕彰委員会での最終審議を経て、今年度の受賞は女子陸上選手で、パラリンピック走り幅跳び代表（日本記録とアジア記録保持者）であり、9月のI O C総会でのオリンピック・パラリンピック招致の最終プレゼンテーションが印象深い佐藤真海氏に決定しました。

また、「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、「地道で独創的な広報・PR活動」の掘り起しを目的に、企業や団体で長年にわたり独創的な広報・PR活動を実践し、広く社会や地域の発展に寄与し、奨励に値する成果を取めた個人またはグループ（NPOを含む）を公益法人として認定・顕彰するものです。第2回目となる今回は、過日会員の皆様に推薦していただいた10名(団体)の中から、2004年に設立され、今年で10回目を迎えた本屋大賞を運営するNPO法人本屋大賞実行委員会に決定しました。

【日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー】

受 賞 者：佐藤真海氏（さとう まみ）

受賞理由：3大会連続パラリンピック出場を果たした義足のロングジャンパー。大学在学中、骨肉腫を発症し右足膝下を切断。現在サントリーホールディングス CSR推進部員として次世代支援として全国の学校・施設で自身の体験伝え、一緒に体を動かすことでスポーツの楽しさ、夢を持つことの大切さを伝えている。また彼女のこれまでの生き方や活動は中学校国語教科書にも掲載されている。2020東京オリンピック・パラリンピック招致委員会プレゼンターとして2013年9月I O C総会でスポーツによって苦しみを克服してきたこと、被災地出身者として国内外のスポーツ選手による被災地での子供達を勇気付ける支援活動を紹介するなど、復興への思いを込めた最終プレゼンテーションは日本のみならず全世界を大きな感動に包んだ。

## 【日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー】

受賞団体：NPO法人本屋大賞実行委員会（ほんやたいしょうじっこういいんかい）

受賞理由：長い出版不況が続く中、本と読者を最も良く知る書店員が一番売りたい本を投票によって選ぶ賞として2004年有志による「本屋大賞」を創設、2005年以降はNPO法人化。2013年で10周年を迎えた。受賞作品はいずれもベストセラーになると同時に、隠れた作家の魅力を発掘することにも役立っている。従来の出版社が売りたい本をPRするやり方から、書店員が「読んで面白い」「お客様に勧めたい」本をPRする「本屋大賞」は出版PRの新しい発想であり、広く国民の支持を得ていることを高く評価する。

なお、表彰式ですが、1月21日（火）開催の「新春PRフェスタ2014」の「新春PRフォーラム」第1部で執り行います。

## PRアワードグランプリ

12月3日（火）、六本木アカデミーヒルズ49「オーディトリウム」において、2013年度「PRアワードグランプリ」の最終審査会が開かれ、グランプリ1作品、部門最優秀賞4作品が決定しました。



グランプリ: (株)TBWA 博報堂・(株)博報堂

特別審査員5名、各部門審査員長4名、会員公募の審査員23名による厳正な選考の結果、最高得点（グランプリ）を獲得したのは、(株)TBWA 博報堂・(株)博報堂「『土のフルコース』プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション」でした。

部門最優秀賞は、コーポレート・コミュニケーション部門が東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会「東京2020オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動」。

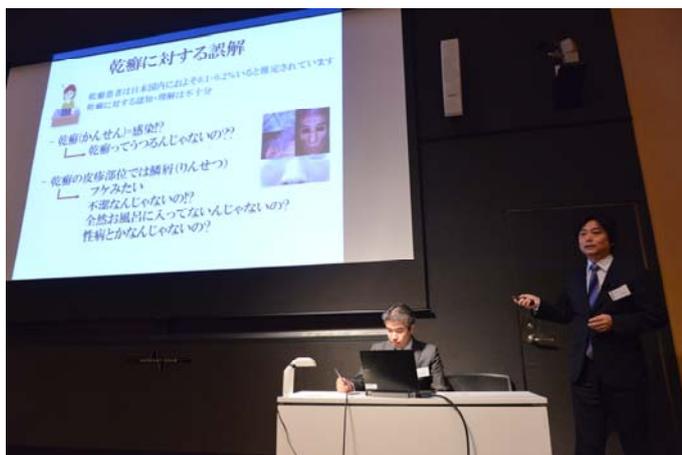


コーポレート・コミュニケーション部門  
最優秀賞: 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会

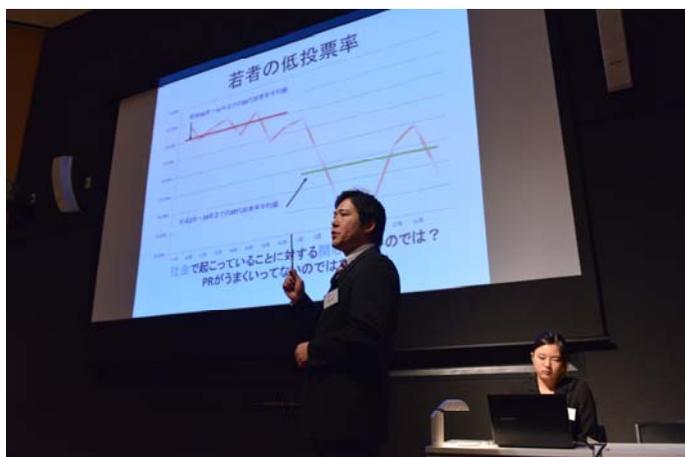
マーケティング・コミュニケーション部門がアッヴィ(同)・エーザイ(株)「10月29日「世界乾癬デー」啓発イベント『“美容師の卵”がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』」。

ソーシャル・コミュニケーション部門が(株)ワカゾウ「選挙割(センキョ割)」。

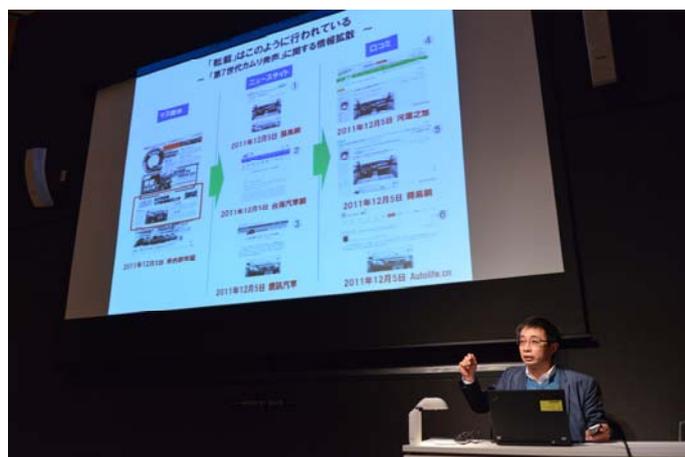
イノベーション/スキル部門が(株)博報堂「「転載」を活用した中国での科学的PR手法」にそれぞれ決定しました。



マーケティング・コミュニケーション部門  
最優秀賞:アッヴィ(同)・エーザイ(株)



ソーシャル・コミュニケーション部門  
最優秀賞:(株)ワカゾウ



イノベーション/スキル部門  
最優秀賞:(株)博報堂

なお、「PRアワードグランプリ」の表彰式は、12月3日(火)最終審査会終了後、同会場にて執り行いました。



グランプリ受賞の㈱TBWA 博報堂・㈱博報堂  
三浦崇宏氏(右)。左は森理事長。

### <2013年度「PRアワードグランプリ」> (優秀賞は各部門エントリー順)

賞	活動の名称	エントリー会社
PRアワードグランプリ	『土のフルコース』プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション	株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動」	東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「「六本木ヒルズ 10 周年」広報活動を通じて都市の「磁力」の重要性を訴求 ～テーマは「LOVE TOKYO」東京を世界で一番の都市に～」	森ビル株式会社
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「10 月 29 日「世界乾癬デー」啓発イベント『「美容師の卵」がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』」	アッヴィ合同会社 エーザイ株式会社
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「「菌活」きのこの新需要創出のための戦略PR活動」	ホクト株式会社 株式会社電通 株式会社電通パブリックリレーションズ
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	『日産ソーシャルメディアプロジェクト “にっちゃん” 開発と運営』	株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「選挙割(センキョ割)」	株式会社ワカゾウ
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「国立循環器病研究センター 日本人の食塩摂取量を減らす「減塩プロジェクト」	株式会社博報堂
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「中高生の科学技術系グローバル人材育成に向けた社会的機運の醸成」	独立行政法人科学技術振興機構 (JST)
イノベーション/スキル部門 ＜最優秀賞＞	「「転載」を活用した中国での科学的PR手法」	株式会社博報堂
イノベーション/スキル部門 ＜優秀賞＞	「情報拡散プランニング支援ツール 「くちこみデザイナー」	株式会社電通 株式会社電通パブリックリレーションズ

## 広告に頼らない「効果的マーケティングPR」

株式会社JALUX  
増茂 洋

### （はじめに）

「飲み会」繋がりです。日本郵政のワインフリークな和田さんよりバトンを受けましたJALUX（ジャルックス）の増茂です。格闘技フリークとの紹介を頂きましたが、趣味として少林寺拳法を20年程続けています。肝心の広報歴は弊社上場（2002年）以来なので、かれこれ10年強選手となりますでしょうか。現在は、IRや株主総会運営を主な業務としており、東証適時開示に向けた数字分析や公文書作成などと格闘しておりPRとはやや異なる業務を担っています。普段の業務が硬派なこともあり、今回勝手ながら気軽にPRについての経験談等書きたいと思います。

### （PR駆け出し時代）

弊社IPO時（2002年）、某航空会社で勤務していましたが、「広報：PRが必要だ」ということで弊社の広報関連部署への異動が決まり、“What’s PR?”といった状態からのスタートでした（当時プランナー資格があればイロハは知識として備えられたのでしょけれど……）。2001年社名変更（日航商事→JALUX）、2002年IPO等が重なり社名認知度向上が一つのミッションであったかと思えます。

「一体何をパブリックにアピールすればよいか?」、IPO当時の中期計画や上場目論見書を熟読する中で考えていました。業績や事業のネタ提供も大事ですが、単なる会社紹介になるしニュース性も乏しい……ならばもう少し身近ネタのほうがわかりやすいかと思ひ、幅広い事業の中で一つの強みである「空港関連」に絞ってみよう!と思ったのが自分にとり本格PR活動の始まりでした。

記者クラブにも属さず記者とのコンタクト方法も判らぬ状態であったので、知人の広報マンからの紹介による記者との接触からスタートでした。記者を紹介いただいたところでネタが無ければ発展しない。何か刺さるネタはないかと空港での新商品（弁当）をネタに色々熱く語りました。商品特徴に加え「駅弁」のように空港でのお弁当もありじゃないかなどと当時の某経済新聞記者に話したところ、かなり反応がよく「これ面白いですよ!」と始まったのが「空弁」誕生の起源です。

それから現場取材により記事化されたのを契機に多くのメディアからの取材が入ってきました。状況を先の記者に相談したところ、「すべての取材に応じてください」との助言をいただき、別件リリース取材に加え対応はかなりタフでしたが、おかげをもって約1年であらゆるメディア対応を経験することができました。メディアに露出されていく段階で「空港弁当」が「空港弁」や「空弁」になり、すっかり一般用語の「空弁」となりましたが、やはり「駅弁」ありきの「空弁」がいい形で育っていったのだと思ひます。

### （PRが創造するマーケット：パブリシティ効果）

先述の「仕掛け」から露出が増えると取材もそれに乗じて増えるのですが、広告のセールスも増えました。広告効果もあるとは思ひますが、PRに徹し広告以上の効果を図れる実感（自信）もあり広告には頼りませんでした。現場協力のもと、リリースは新商品が出る度に作成し常時新情報の発信に努め、取材は他社広報との連携をとるなどし露出が多くなるにつれ売上増にも繋がってまいりました。メディアも新聞から雑誌/We b、そしてラジオ・TV・一部海外へと広がり、さらに地方紙にも多くの露出が図られ、気づいたら全国レベルの??億円規模の「空弁」マーケットが創造されていました。地域（空港）によっては、お弁当は幅広く展開しており既存マーケットであったかもしれませんが、「空弁」が全国規模となったのはPR効果として大きな価値だと思ひます。

自社商品だけのヒットを狙うのではなく、「空弁」というカテゴリーブランド及びマーケット創造には、自社・他社・メディア・お客様の皆の価値が合致する点が大きいと思います。ブームは一時で消えるかもしれませんが、10年経った現在でも「空弁」取材は続いています。パブリシティが生んだマーケットといっても過言ではありません。弊社においては「空弁」製造の合弁会社を昨年開業し、現在多くの空弁が誕生しています。空港に来て「空弁」を購入することを空港に行く楽しみにしてくれる人も増えていると聞きます。「空弁」マーケット創造は、最初からこうしようと言うより気付いたらこうなっていたという感じでもあり、冒頭の「仕掛け」というのは結果論から来る言葉かもしれません。

### （PRプランナーの活かし方）

PRプランナー資格取得は、資格誕生から何人かのPRパーソンが取得した話を聞き、自分も取ろうかな的な動機でした。実技を兼ねた3次試験と面接まで時間のかかる資格だなあと思いながら参考文献を自費で購入し「落ちたら損だ」というマインドで臨み、実技ではPPTがあるので、これも自費でPPTの一日研修を受け何とか乗り切った感じです。広報関連の知識や実務（リリース・企画）はいい形で学ぶことができ活かしています。あとは皆と同じ有資格者同士のネットワーク作りですかね。

PRプランナーの皆さんは、PRという仕事柄夫々が自社の強みやノウハウをご存知だと思います。一社ではできないけど一緒ならできることはPRパーソン同士だからこそ実現可能になるものもあると思います。これだけ多くのプランナー（1,534名/2014年1月時点）がいるのですから、セオリー通りに行かずともネットワークを活かして何か新たな展開ができるはず、そうしたことが実現して初めてプランナー資格も世間に通じてくる（バリューアップする）のではないのでしょうか。PRプランナー交流会もそうした観点から参加するとより意義が深まるものと思います。

### （最後に）

「空弁」マーケット創造は話せば長いストーリーですが、社内関係者をはじめ、他社広報、メディア、お客様との一体感があってこそその実現だと思います。当初のミッションであった社名認知度向上からはやや離れた結果となりましたが、「マーケティングPR」としていい経験ができたものと思います。

最後に、空港に行かれる際にはぜひ「空弁」をご賞味くださいませ。この場（PRSJ NEWS）も貴重なPRの場として活用させていただきます。長々としましたが拙い話にお付き合いいただき、ありがとうございました。2014年、皆様にとり、よき一年になりますように！

次回は、ランナーでありパン作り名人でもあるプランタン銀座のPRウーマン飯塚さんにバトンタッチいたします。

**会 員 限 定**

第152回定例研究会

**「東洋経済オンライン」の野心的挑戦****講師：(株)東洋経済新報社  
東洋経済オンライン編集長  
佐々木紀彦 氏**

第152回（11月度）は11月13日（水）、日本外国特派員協会で開催しました。講師「(株)東洋経済新報社 「東洋経済オンライン」編集長 佐々木紀彦氏。テーマは「「東洋経済オンライン」の野心的挑戦 --新時代をリードするビジネス・メディアの将来像を探る--」。参加者は48名でした。



**<コラム 関西の風>****史料館にお越しく下さい**

**マンダム株式会社**  
**商品PR室長**  
**酢谷 香織**

大阪市中央区にあるマンダム本社に史料館がある。1927年（昭和2年）の創立から今までの歩みを示したマンダム博物館のようなものだ。商品や広告、営業ツールなどの展示とともに、なぜ会社は「その時」「そのようなこと」をしたのか、背景や意思決定を次代のマンダム社員に語り継ぐことを目的としている。86年の歴史の中における成功や危機を経て今があることを知ること、もっと簡単に言うと社員の「企業理念の理解の場」である。

開設当初、PRの立場から絶好のプレスルームになると企み、「もっと商品数を多くしてほしい」などディスプレイに文句を言ったりもした。あくまでも”社内向け”と念を押され活用もままならなかったが、あるとき例外的に他企業との親睦会を史料館で行うことになり、ご案内の役を仰せつかった。社歴の長いPR担当というだけで80余年の歴史も承知していると思われたらしい。

取材対応のために日常的に「社史」をめぐることはあるが、ついつい時事の確認となってしまう。あらためて史料館をじっくり見た。

関西で唯一の香水メーカーから出発し、「丹頂チック」で企業基盤を確立したものの、やがて時代遅れとなり経営危機に直面する。社運を賭して「マンダム」を発売し、これが大成功を収め、男性化粧品メーカーとして確固たる地位を築いた。だが、“好事 魔多し”。更なる飛躍のため代理店経由販売から直接販売へ踏み切ったものの、経費がかさみ甚だしい債務超過に陥り、2度目の経営危機を迎えた。この「2度の経営危機」の教訓が、今のマンダムの企業理念の骨格となったことを語り続けていかななくてはならないことを、史料館は思い出させてくれる。

ご案内したお客様から多様な反響があった。「うーん、マンダム」「これ父が使っていました」「このCMは忘れられない」など、製品とのかかわりを多く聞かされるのは、やはり日用品メーカーの醍醐味。加えて先人たちの苦悩、決断、潔さ、明るさなど、過去を垣間見ることで、今の企業のナリやカタチが見えてくる。会社の「らしさ」もこのような過去の時間の上で熟成されたのかと、当社の企業風土への理解を深めていただいた。

大きな広報効果である。このような経緯で、現在は取材対応も史料館で行うことが多くなった。迷ったら企業理念に立ち戻れ！史料館はそんな場所なのだ。

大阪にお越しの節は、お立ち寄りください。私が史料館をご案内いたします。

## ■ 会員便り

当協会法人正会員で理事でもあるビーンスター(株) 鶴野充茂氏が、「なぜ経営者は『嘘つき』と言われてしまうのか? ~PRのプロが教える社長の伝え方・話し方」を2013年12月25日発刊

当協会理事でビーンスター(株) 代表取締役の鶴野充茂氏の新刊が出ました。

謝罪会見などが目立った2013年の世相を背景に、経営者の発言が誤解されたり嘘つき呼ばわりされたりする現象をコミュニケーションの観点から分析し、話し手と聞き手の意識のギャップから生じる「うまく伝わらない現象」について分かりやすく解説、その問題解決のためのシンプルで具体的な方法、そして、積極的に発信することで仕事を円滑に進める方法を紹介しています。

経営トップの情報を発信サポートする広報の皆さんにもオススメの1冊です。

### ■ 内容

【第1章】 経営者が叩かれる理由とその対応策

【第2章】 「誤解」から「理解と協力」へ

経営者に効く伝え方24の極意

- ・「内容」と「表現」はこう整理する
- ・「大事な情報」だけに絞り込むカンタンな方法
- ・事実に、意味や解釈も付け加える
- ・「理解してもらおう」より「行動してもらおう」
- ・なぜ、今この話をするのかを伝える など24項目

【第3章】 経営者を効果的にPRメディアを味方に付ける伝え方の技術

### ■ 商品概要

著書名: 「なぜ経営者は『嘘つき』と言われてしまうのか? ~PRのプロが教える社長の伝え方・話し方」

著者: 鶴野充茂

単行本: 232 ページ

出版社: 日経BP社

価格: 1,500円 (+税)

発売日: 2013年12月25日



※ この件に関するお問合せ

ビーンスター(株) 担当: 鶴野充茂

TEL: 03-3449-9988 FAX: 020-4668-4829

e-mail: [info@beanstar.net](mailto:info@beanstar.net)

## PR SJ in Media

### ● 12月1日（日） 『月刊広報会議』1月号

『月刊広報会議』1月号における連載コラムで、当協会が刊行した「広報マスコミハンドブック」2014年度版の発行が紹介されました。

本書では、毎年、キーワードの解説が掲載されていますが、2014年度版では「O2O」、「CSV」、「統合報告書」、「トリプルメディア」、「ビッグデータ」など広報・PR関係者の業務においもて重要な新語がピックアップされ、それぞれの意味が解説されています。広報・PR関係者にとって有用性の高い内容を満載する本書は、今年も多数の人々による利用が期待されます。

### ● 12月16日（月） 『新聞通信』

当協会が主催した「PRアワードグランプリ2013」の選考結果について、一部紹介されました。記事では、グランプリには「土のフルコース」、イノベーション/スキル部門の最優秀部門賞には「転載を活用した中国での科学的PR手法」の2作品が博報堂グループから応募され、受賞したことが掲載されています。

編集担当より

**会員のみなさんの情報をお寄せください！！**

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

### 編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。  
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、  
よろしくお願い致します。

#### 広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載